平成31年3月20日開催
第97回運営委員会資料

参考資料1

協会けんぽの適用状況

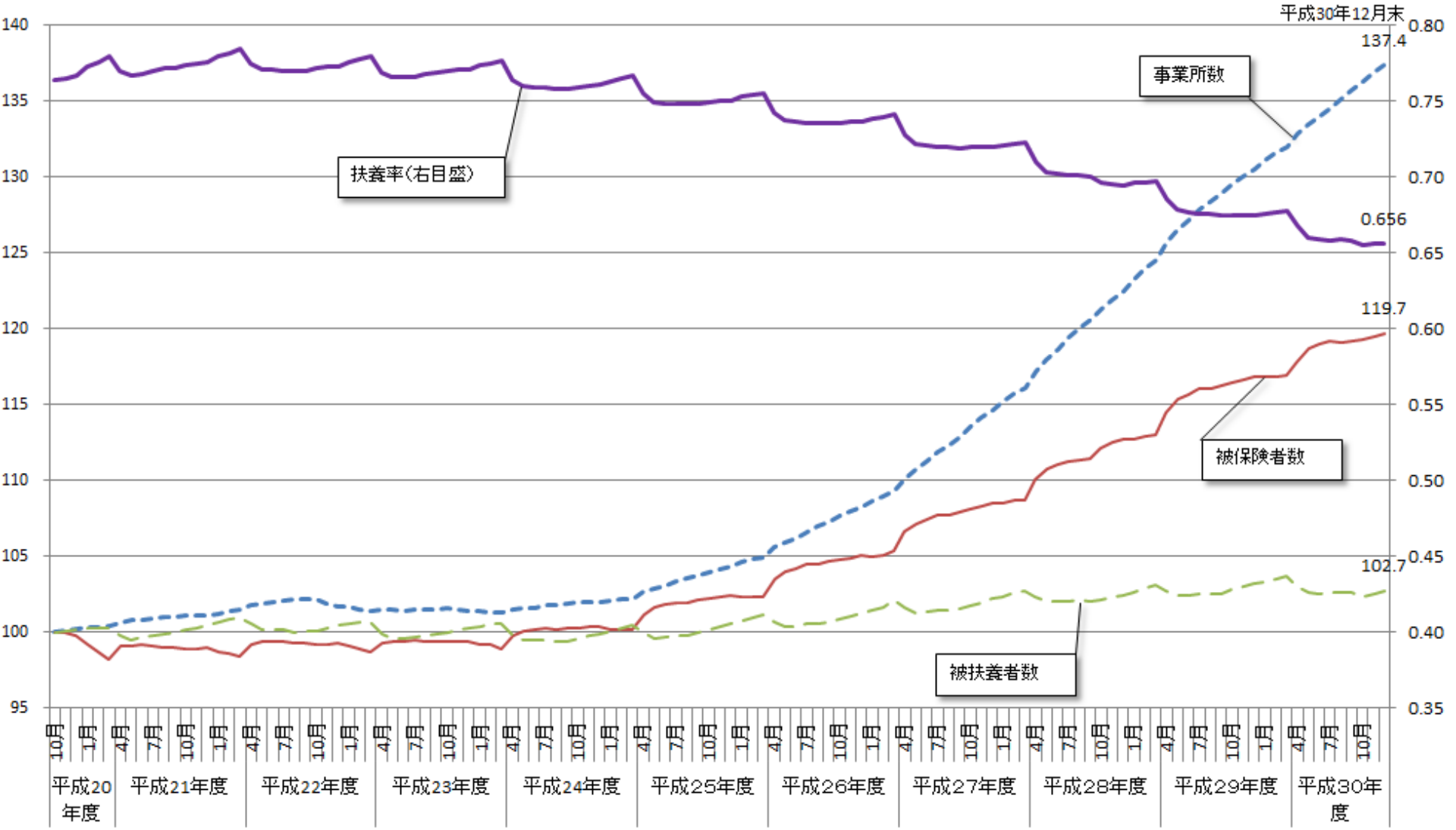
Ⅰ．概要
- 協会けんぽの事業所数・被保険者数・被扶養者数の推移（指数）
- 協会けんぽ被保険者の平均標準報酬月額・平均年齢・男女比の推移
- 都道府県別協会けんぽ被保険者等の状況
- 都道府県別協会けんぽ被保険者の平均年齢・平均標準報酬月額
- （参考）協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較①
- （参考）協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較②

Ⅱ．協会けんぽの年齢階級別加入者数割合及び平均標準報酬月額の動向
- 協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の推移
- 協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の変化
- 協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の推移
- 協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の変化
- 協会けんぽ被保険者の年齢階級別平均標準報酬月額の推移

（参考）医療保険制度別加入者数の推移

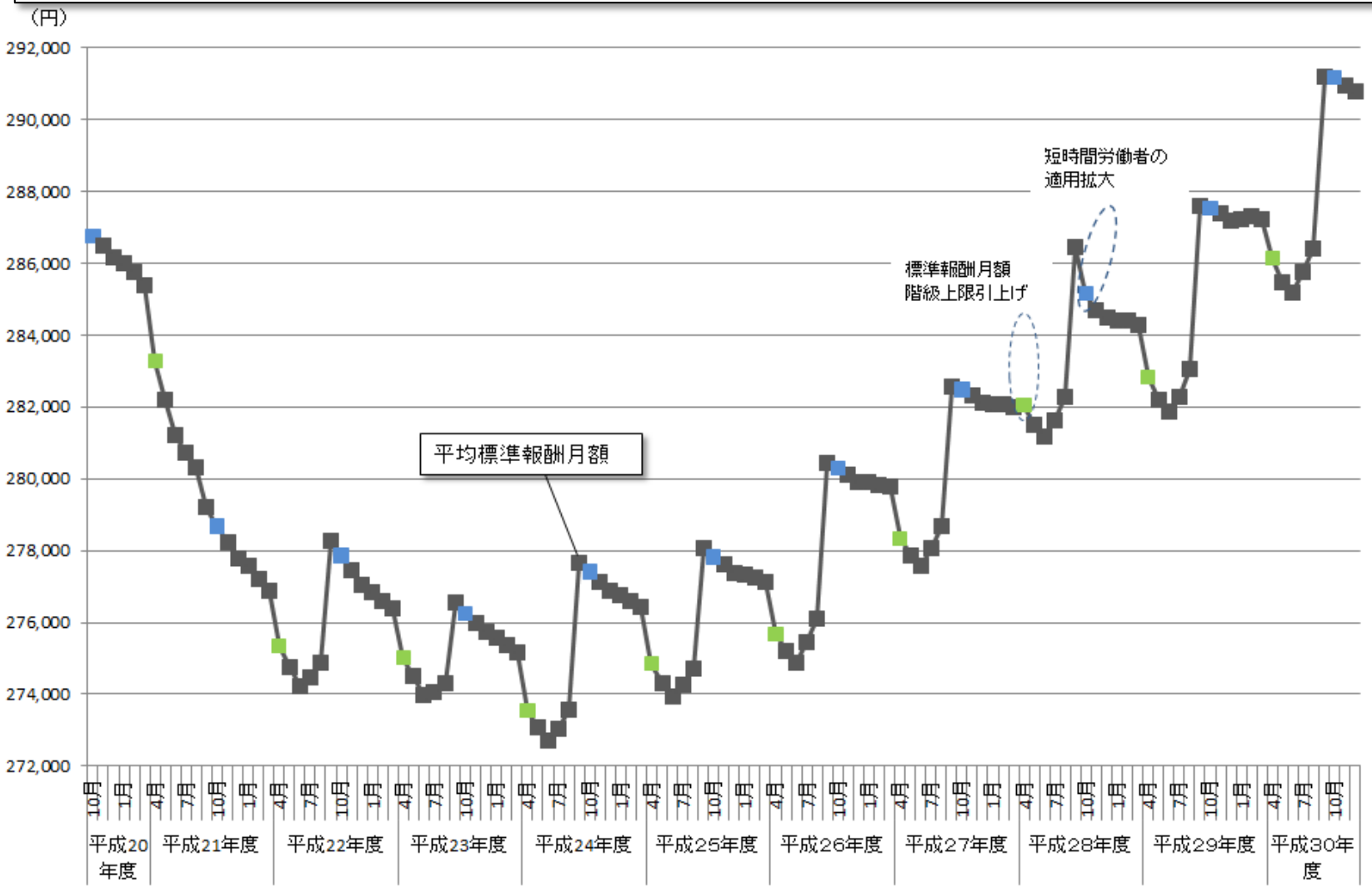
Ⅰ．概要

協会けんぽの事業所数・被保険者数・被扶養者数の推移（指数）



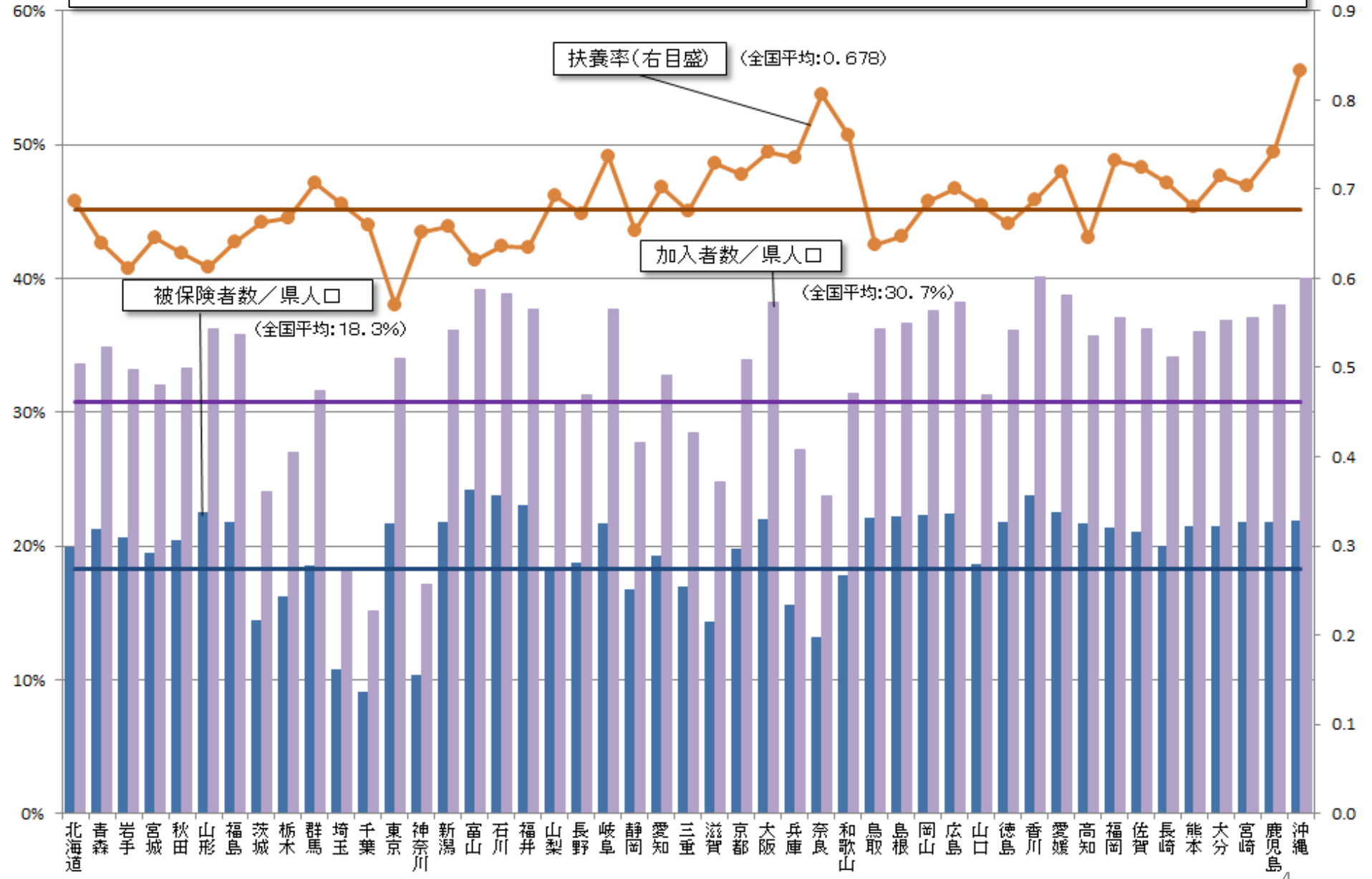
※　平成20年10月末における事業所数、被保険者数、被扶養者数をそれぞれ100とし、その後の数値を指数で示している。

協会けんぽ被保険者の平均標準報酬月額・平均年齢・男女比の推移



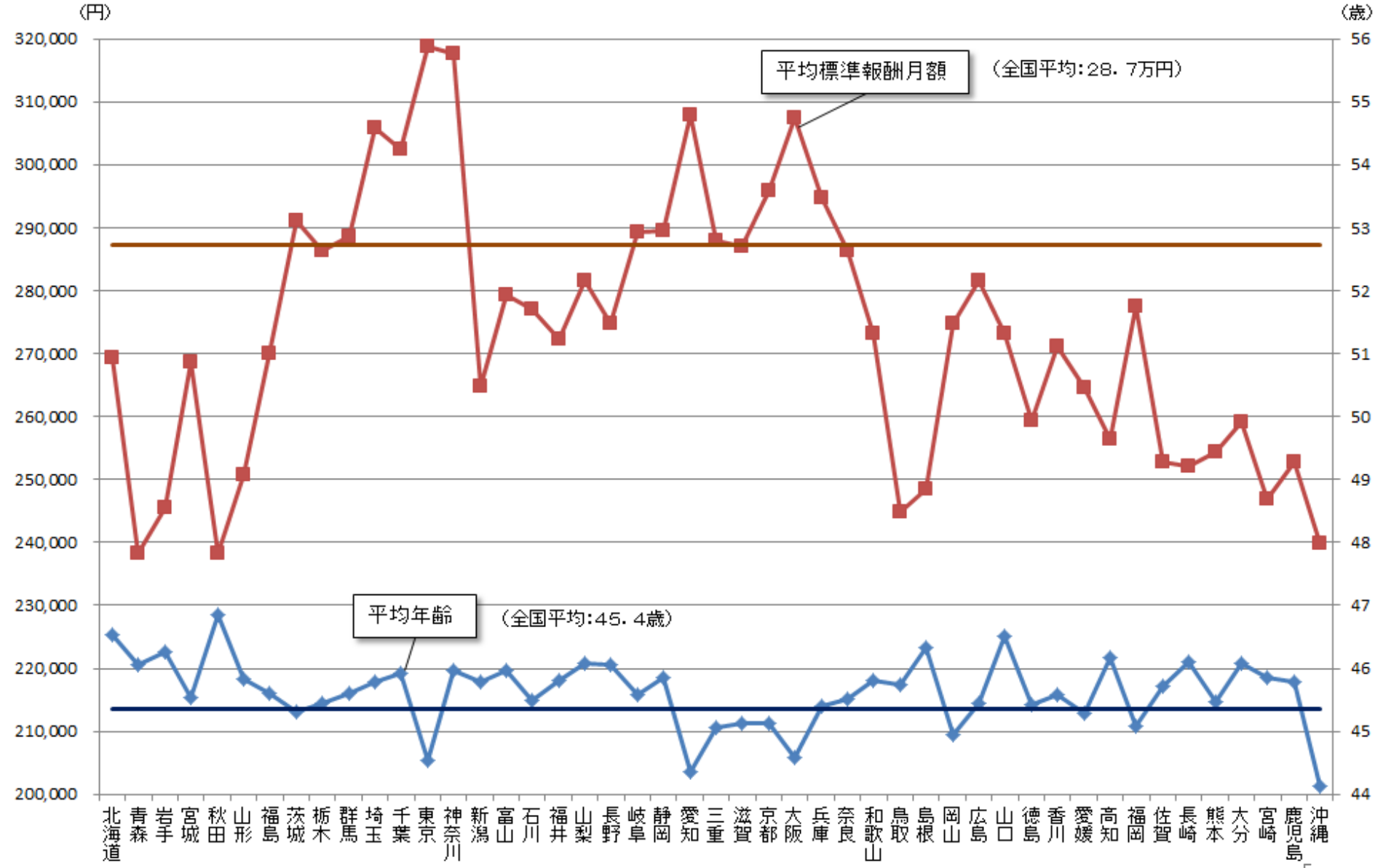
年月末	H20.10	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H30.12
平均年齢（歳）	43.4	43.7	43.9	44.0	44.1	44.3	44.4	44.6	44.8	45.1	45.4	45.5
男女比	0.620：0.380	0.620：0.380	0.618：0.382	0.616：0.384	0.614：0.386	0.612：0.388	0.611：0.389	0.611：0.389	0.610：0.390	0.607：0.393	0.606：0.394	0.602：0.398

都道府県別協会けんぽ被保険者等の状況



注：協会けんぽの被保険者数、被扶養者数は平成29年度末時点、県人口は平成29年10月1日時点の数値である。

都道府県別協会けんぽ被保険者の平均年齢・平均標準報酬月額

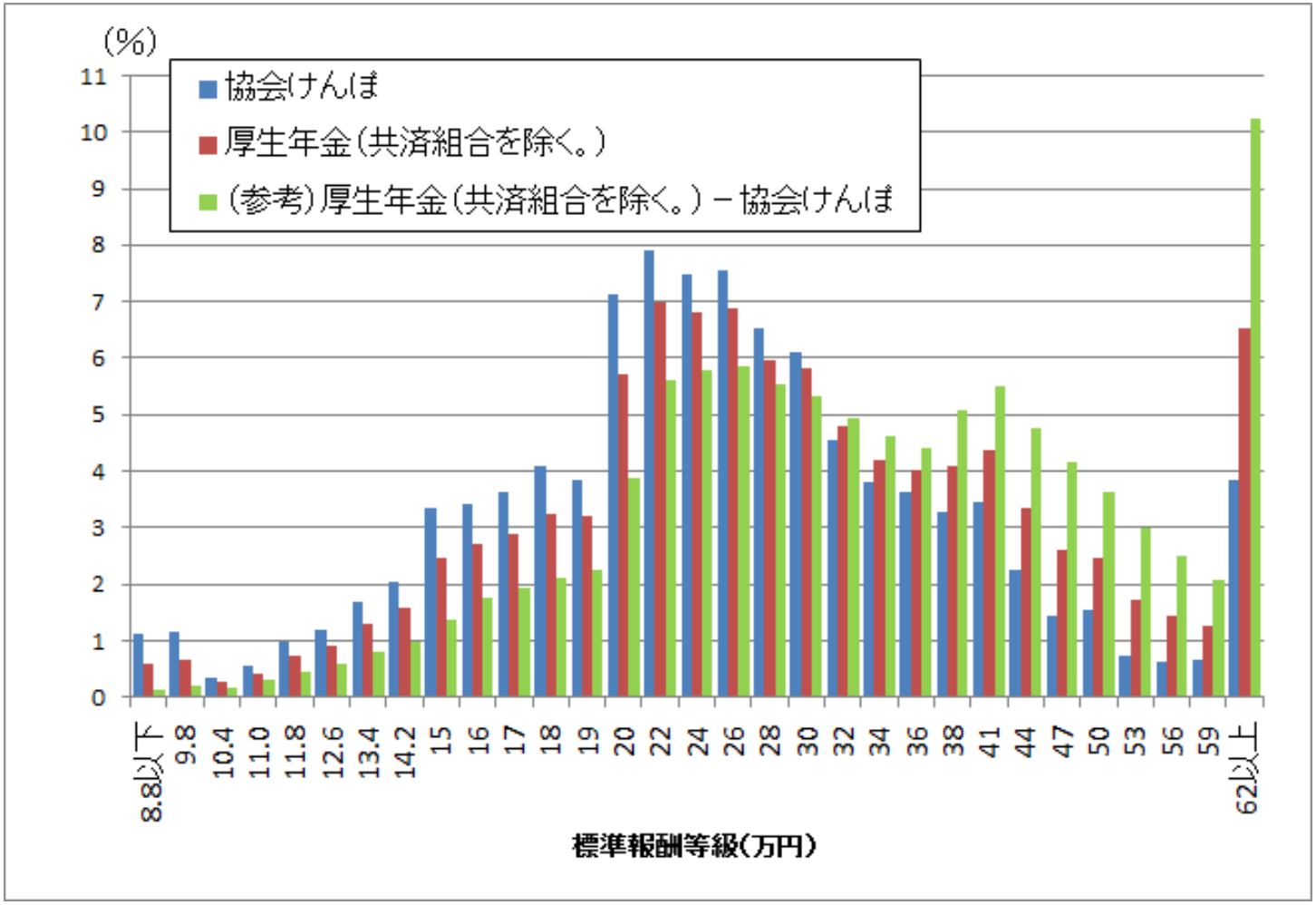


注:平成29年度末時点における協会けんぽ被保険者の平均である。

（参考）協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較①

◆ 協会けんぽ被保険者と、組合健保被保険者を含んだ厚生年金（共済組合を除く。）の被保険者との比較をする。

図1　標準報酬等級別被保険者数の分布の比較



注：平成30年3月末時点の数値である。
「厚生年金（共済組合を除く。）」には、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団に係る適用のデータは含まない。
「（参考）厚生年金（共済組合を除く。）－協会けんぽ」には、70歳以上及び任意継続被保険者は含まない。

（参考）協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較②

図2　事業所規模別被保険者数の分布の比較

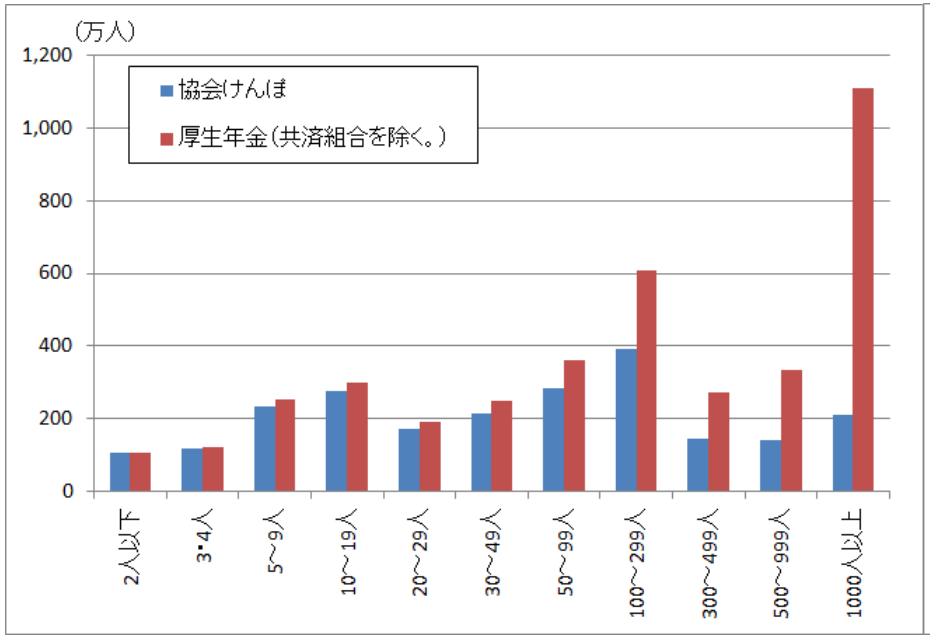


図3　事業所産業別被保険者数の分布の比較

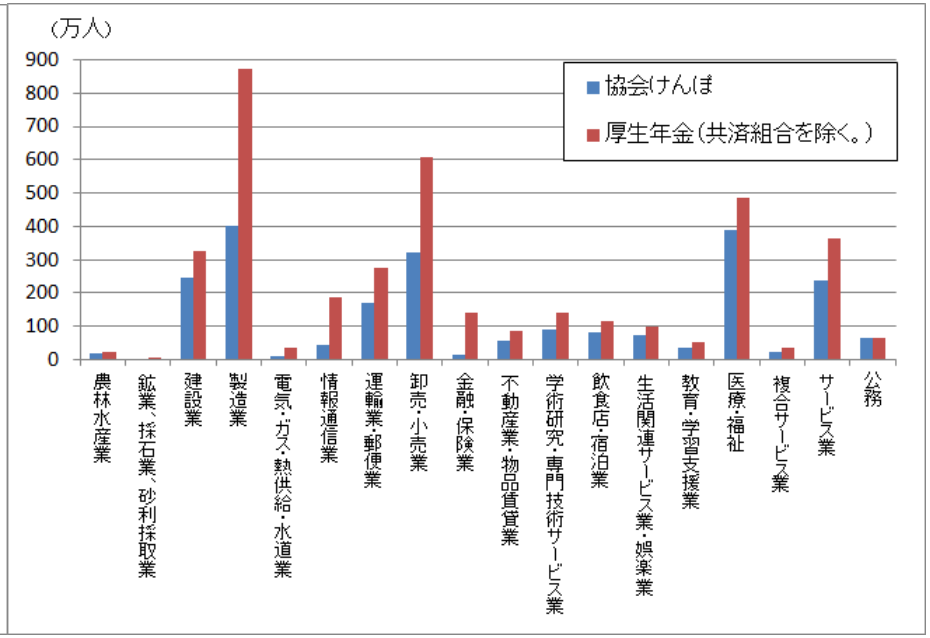


表1　平均年齢の比較

	被保険者の平均年齢
協会けんぽ	45.1歳
厚生年金（共済組合を除く。）	43.5歳

表2　平均標準報酬月額の比較

	被保険者の平均標準報酬月額
協会けんぽ	28.7万円
厚生年金（共済組合を除く。）	31.0万円

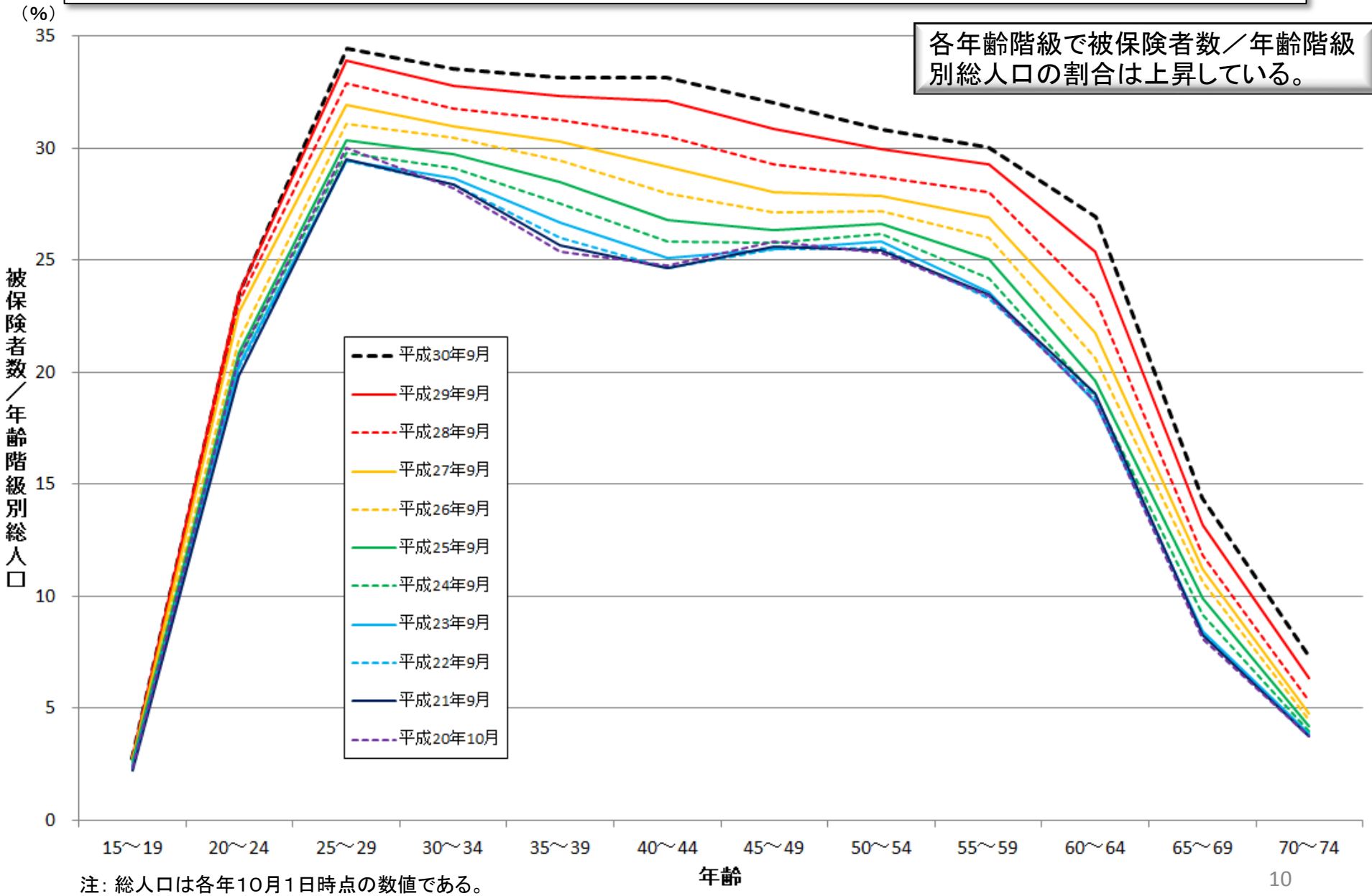
表3　男女比の比較

	被保険者の性比（男：女）
協会けんぽ	0.606：0.394
厚生年金（共済組合を除く。）	0.624：0.376

注：図2・3は協会けんぽについては平成30年3月末時点、「厚生年金（共済組合を除く。）」については平成29年9月1日時点の数値、表1は平成29年3月末時点の数値、表2・3は平成30年3月末時点の数値である。
「厚生年金（共済組合を除く。）」には、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団に係る適用のデータは含まない。

Ⅱ．協会けんぽの年齢階級別加入者数割合及び平均標準報酬月額の動向

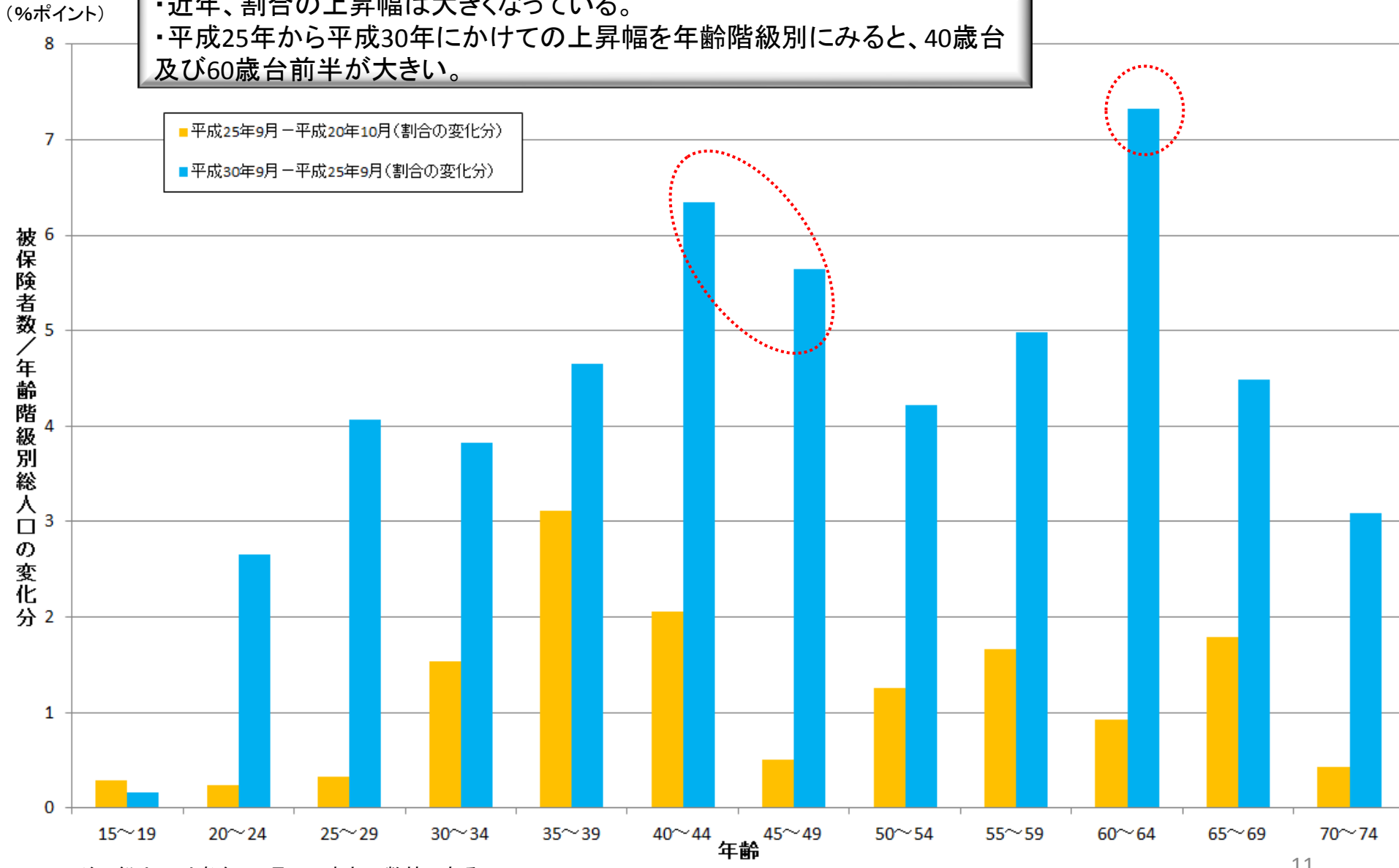
年齢階級別にみた協会けんぽの被保険者数／年齢階級別総人口の推移



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

上の図の割合の変化

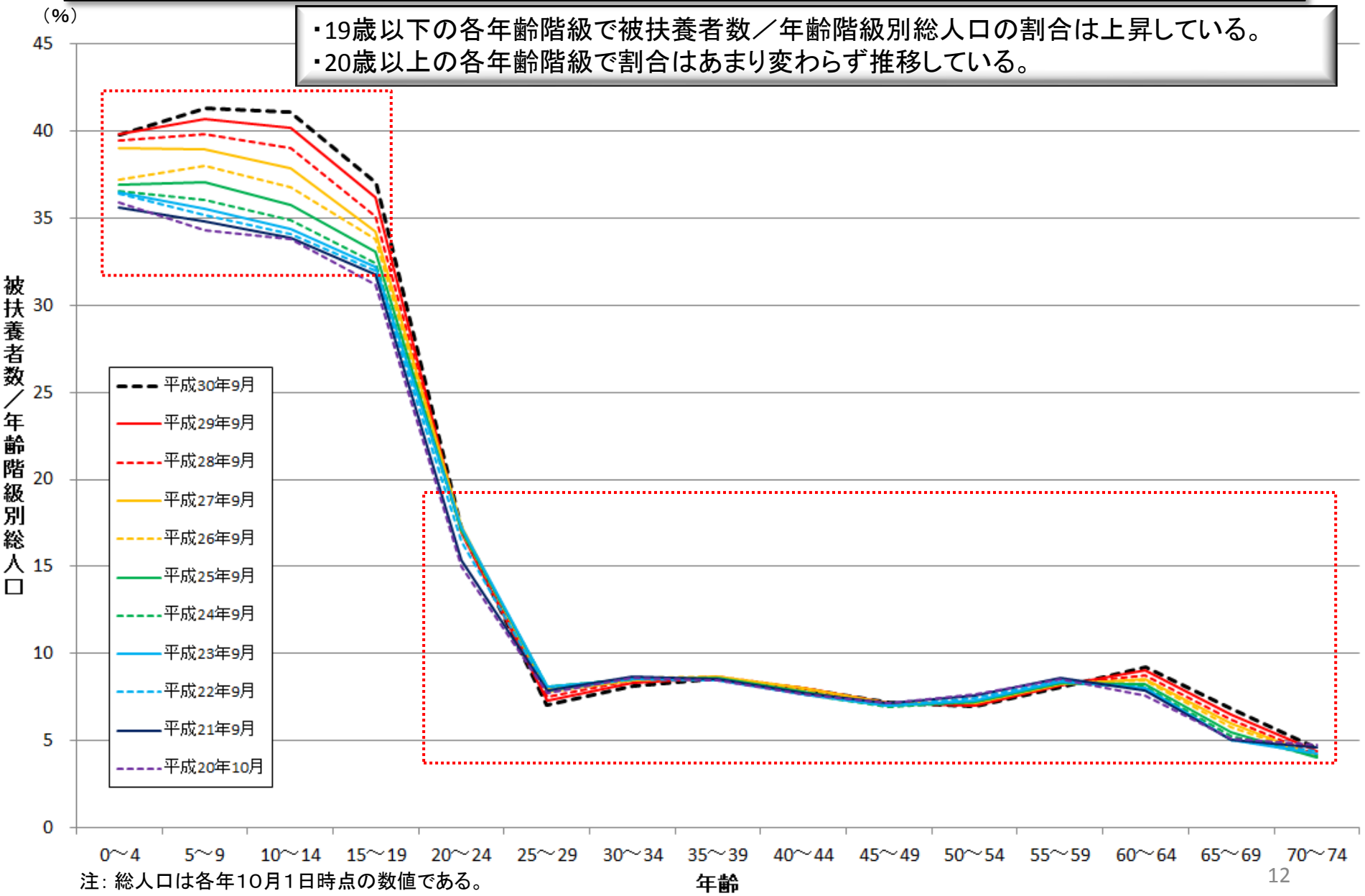
・近年、割合の上昇幅は大きくなっている。
・平成25年から平成30年にかけての上昇幅を年齢階級別にみると、40歳台及び60歳台前半が大きい。



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別にみた協会けんぽの被扶養者数／年齢階級別総人口の推移

・19歳以下の各年齢階級で被扶養者数／年齢階級別総人口の割合は上昇している。
・20歳以上の各年齢階級で割合はあまり変わらず推移している。

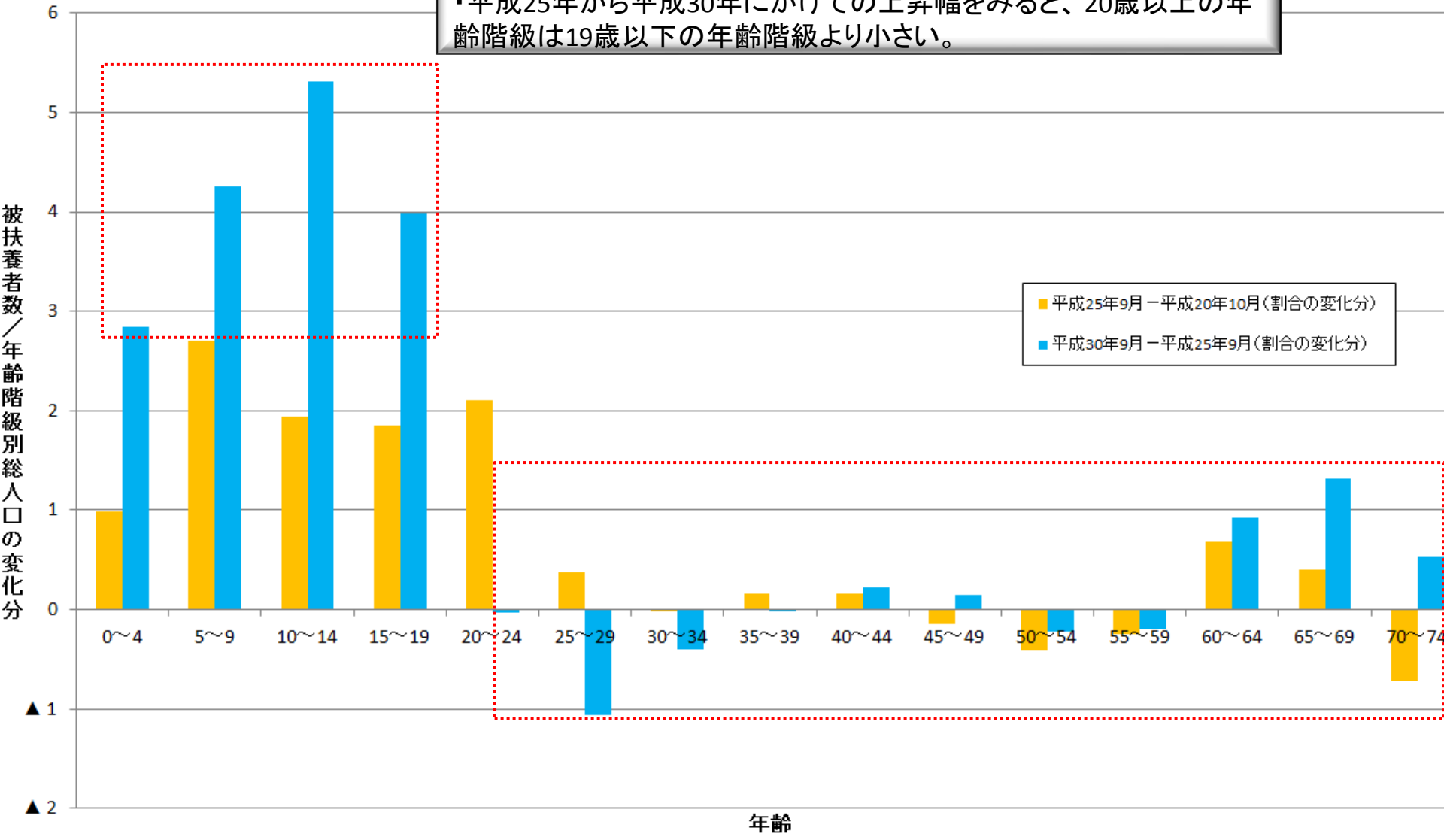


注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

上の図の割合の変化

（%ポイント）

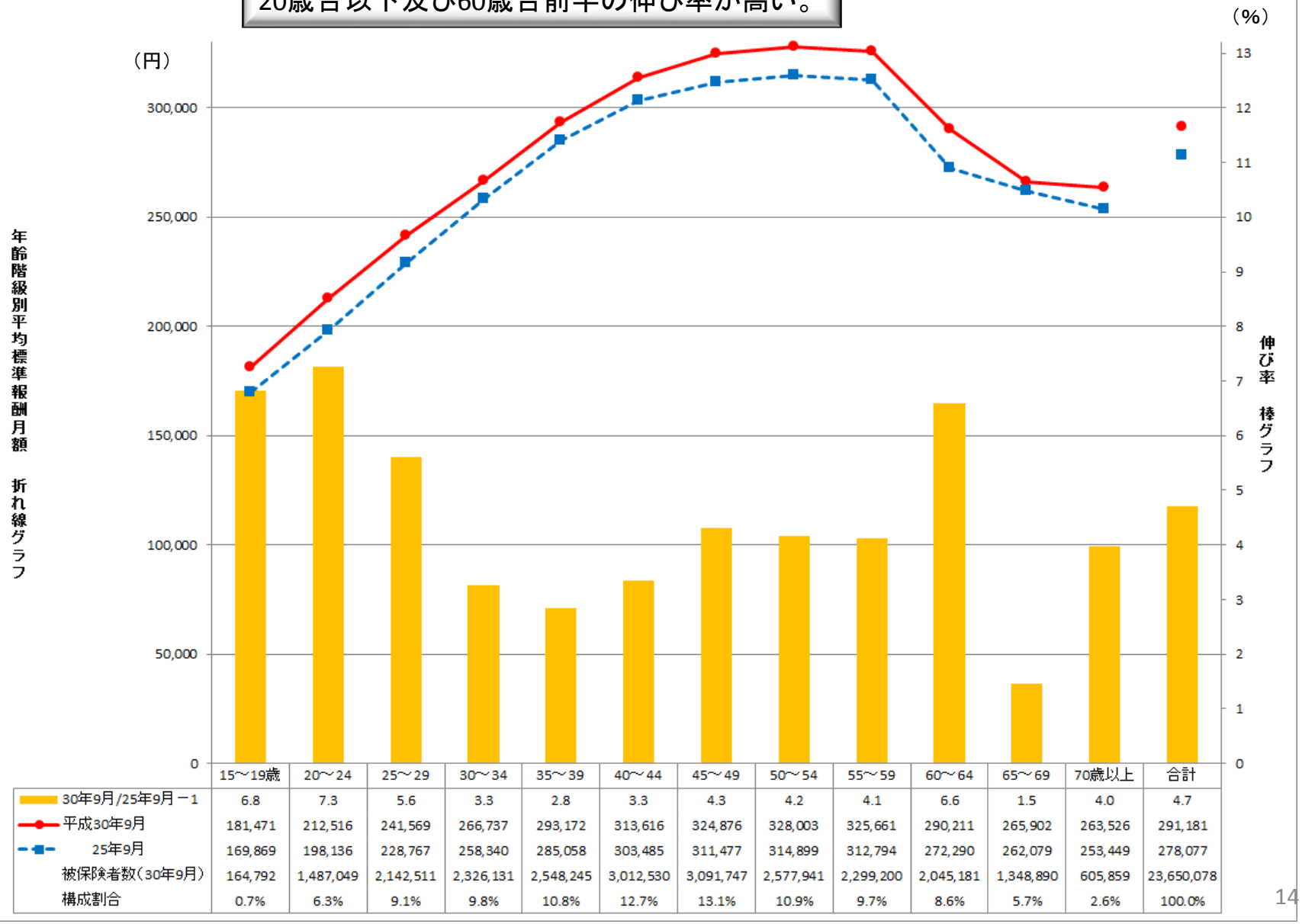
・近年、19歳以下の各年齢階級で割合の上昇幅は大きくなっている。
・平成25年から平成30年にかけての上昇幅をみると、20歳以上の年齢階級は19歳以下の年齢階級より小さい。



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

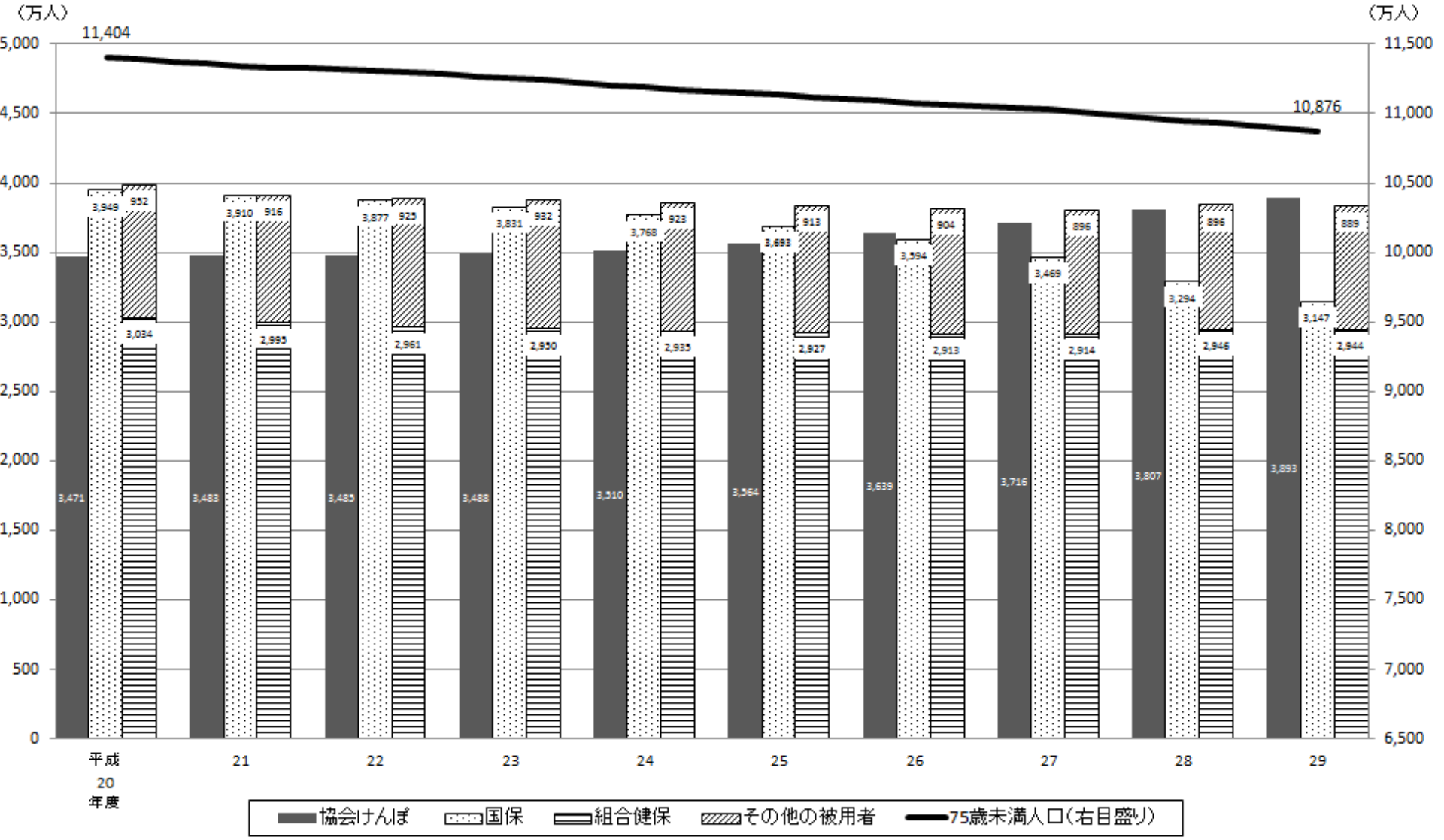
協会けんぽ被保険者の年齢階級別平均標準報酬月額の推移

20歳台以下及び60歳台前半の伸び率が高い。



	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	合計
30年9月/25年9月－1	6.8	7.3	5.6	3.3	2.8	3.3	4.3	4.2	4.1	6.6	1.5	4.0	4.7
平成30年9月	181,471	212,516	241,569	266,737	293,172	313,616	324,876	328,003	325,661	290,211	265,902	263,526	291,181
25年9月	169,869	198,136	228,767	258,340	285,058	303,485	311,477	314,899	312,794	272,290	262,079	253,449	278,077
被保険者数（30年9月）	164,792	1,487,049	2,142,511	2,326,131	2,548,245	3,012,530	3,091,747	2,577,941	2,299,200	2,045,181	1,348,890	605,859	23,650,078
構成割合	0.7%	6.3%	9.1%	9.8%	10.8%	12.7%	13.1%	10.9%	9.7%	8.6%	5.7%	2.6%	100.0%

（参考）医療保険制度別加入者数の推移



注1. 協会けんぽ、国保及びその他の被用者は年度末現在の加入者数、75歳未満人口は翌年度4月1日現在の人口（総務省統計局「人口推計」の総人口）を表す。
2. その他の被用者は船員保険及び共済組合の合計である。ただし、共済組合は前年度末現在の数値を計上している。